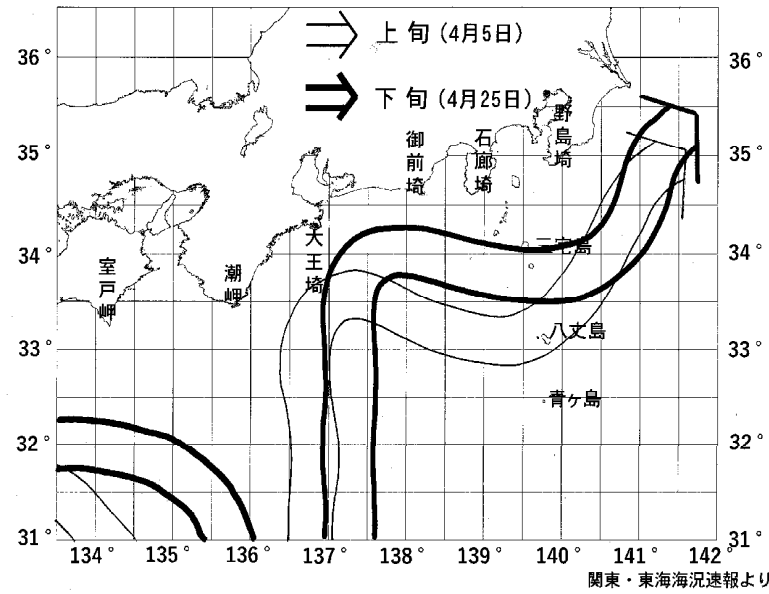


漁海況月報

令和4年4月1日

No. 4 ~4月30日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



4月定地水温の旬平均値(°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.5	15.8	15.6	15.8	15.7	15.6
	0.6	0.3	0.3	-0.1	-0.2	0.1
中旬	16.5	17.1	17.0	18.3	18.0	17.2
	1.0	1.2	1.3	1.8	1.4	1.0
下旬	18.0	18.0	18.0	19.2	19.5	18.7
	1.8	1.4	1.6	1.9	2.0	1.7
月	16.7	16.9	16.9	17.8	17.7	17.1
	1.2	1.0	1.1	1.2	1.1	0.9

*2022年平年値(1990-2021年の31年平均値)

【黒潮流路】

4月を通じてA型で、潮岬沖で大きく離岸した後、上旬は大王崎沖付近まで、中旬～下旬は遠州灘沖付近まで直線状に北上する流路となった。

上旬は潮岬沖30.5°N付近まで大きく離岸し、大王崎沖33.5°Nまで北上した後東南東に流れ、八丈島付近を通過して北東に流去した。大王崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘に向けて暖水波及が見られた。

中旬は潮岬沖30.0°N付近まで大きく離岸し、遠州灘沖33.5°N付近まで北上した後東進し、三宅島付近を通過して東北東に流去した。御前崎～石廊崎沖の黒潮東流部から遠州灘、駿河湾、大島西水道に向けて強い暖水波及が見られたため、駿河湾急潮警報を発表した。

下旬は潮岬沖30.0°N付近まで大きく離岸し、遠州灘沖34.0°N付近まで北上した後東進し、三宅島～八丈島間を通過して北東に流去した。遠州灘沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、御前崎

～石廊崎沖の黒潮東流部から駿河湾、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

【沿岸域水温】

上旬は伊東で「やや高め」、それ以外の地点で「平年並み」であった。中旬は雲見で「高め」、それ以外の地点で「やや高め」であった。下旬は稲取で「やや高め」、それ以外の地点で「高め」であった。

【竿釣カツオ】

4月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは103.5トンで前年同月(76.7トン)の135%であった。平均単価は665円/kgで前年同月(417円/kg)を上回った。

漁場は34～35°N、137～138°Eの大王崎沖などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は中(尾叉長56cm)を主体に、大(尾叉長59cm)、特大(尾叉長65cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R4年4月上旬	8.3	6	1.4	975
中旬	54.8	15	3.7	595
下旬	40.4	8	5.1	696
R4年4月計	103.5	29	3.6	665
R3年4月計	76.7	19	4.0	417
R2年4月計	110.7	38	2.9	587

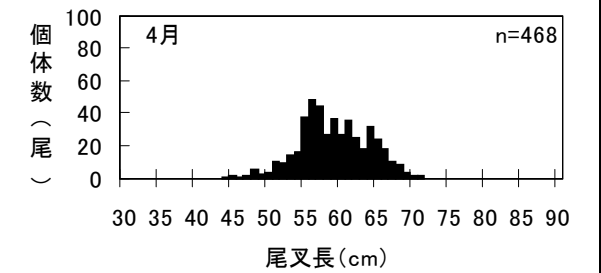


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は354.5トンで、前年(422.9トン)の84%、平年(420.4トン)の84%であった。また、1か統あたりの水揚げ量は50.6トン(前年60.4トン、平年60.1トン)であった。水揚げの多い漁場は、伊豆山漁場(89.5トン、ブリ、マイワシ、カタクチイワシ)、次いで川奈漁場(63.7トン、ブリ、サワラ、さば類、スルメイカ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁の表のとおりで、ブリは126.6トンで、前年比1.1倍、平年比1.6倍で、銘柄わらさが主体であった。マイワシは87.8トンで、前年比1.1倍、平年比2.1倍であった。さば類は53.1トンで、前年比40%、平年比86%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは9.2トンで、前年比32%、平年比38%、ゴマサバは43.8トンで、前年比42%、平年比91%であった。スルメイカは19.9トンで、前年比40%、平年比1.0倍であった。サワラは18.7トンで、前年比4.1倍、平年比2.2倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁の表のとおりで、ブリでは伊豆山漁場が34%(42.7トン)、川奈漁場が28%(35.3トン)、富戸漁場が24%(31.0トン)、マイワシでは伊豆山漁場が36%(31.6トン)、古網漁場が35%(30.5トン)、北川漁場が23%(19.9トン)、さば類では赤沢漁場が28%(14.8トン)、北川漁場が17%(9.0トン)、谷津漁場が16%(8.6トン)、川奈漁場が16%(8.4トン)、スルメイカでは富戸漁場が25%(5.0トン)、北川漁場が24%(4.7トン)、古網漁場が18%(3.5トン)、川奈漁場が17%(3.4トン)、サワラでは川奈漁場が62%(11.6トン)、富戸漁場が32%(6.0トン)を占めた。

*平年：昭和57年～令和3年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	126.6	1.12	1.60	伊豆山、川奈、富戸
マイワシ	87.8	1.07	2.12	伊豆山、古網、北川
さば類	53.1	0.40	0.86	赤沢、北川、谷津、川奈
スルメイカ	19.8	0.40	1.00	富戸、北川、古網、川奈
サワラ	18.7	4.14	2.22	川奈、富戸

[サバたもすくい網]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい主体で操業し、漁場は上旬は銭洲、中旬以降は三本に形成された。水揚量はマサバ192トン(前年同月1.8倍)、ゴマサバ250トン(前年同月比86%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ7.4トン(前年同月比2.1倍)、ゴマサバ9.6トン(前年同月比99%)であった。

平均単価は、マサバ(121円/kg)は前月(86円/kg)、前年同(95円/kg)を共に大きく上回り、ゴマサバ(96円/kg)は前月(75円/kg)を大きく上回り、前年同月(92円/kg)並であった。

水揚物の体長組成は、マサバは32cm、ゴマサバは28cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R4年4月上旬	15	153	4	9	1.5	17.0	112	94	銭洲
中旬	76	28	5	9	8.4	3.1	123	98	三本
下旬	102	68	4	8	12.8	8.5	120	101	三本
R4年4月計	192	250	13	26	7.4	9.6	121	96	銭洲、三本
R3年4月計	108	291	12	30	3.6	9.7	95	92	銭洲、ひょうたん瀬、三宅、利島、高瀬
R2年4月計	800	159	13	36	22.2	4.4	88	116	銭洲、三本、ひょうたん瀬、三宅

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

4月の出漁日数は6日、水揚量は18.0トンであった(前年同月の出漁日数は6日、水揚量は36.5トン)。主漁場は沼津沖であった。水揚げされたサクラエビの体長組成は34mm付近にモードがある分布を示した。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R4年4月上旬	5.1	2	沼津沖、湾奥中央部
4月中旬	12.5	3	沼津沖、湾奥中央部、安倍川沖
4月下旬	0.4	1	沼津沖、湾奥中央部
R4年4月計	18.0	6	—
R3年4月計	36.5	6	興津川沖～三保沖
R2年4月計	2.3	1	焼津沖～相良沖
H31年4月計	8.6	4	焼津沖～相良沖

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が150kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が212kgであった。平均水揚量は190kgと前年同期(745kg)の25.5%、平年同期(過去5か年平均:539kg)の35.2%であった。また、総水揚量は316.2トンで前年同期(1,700.5トン)の18.6%、平年同期(976.5トン)の32.4%と、前年同期、平年同期をともに下回った。平均単価は892円/kgと、前年同期(480円/kg)の1.9倍、平年同期(681円/kg)の1.3倍と、前年同期、平年同期をともに上回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	28.5	13	132	216	789
	舞阪	101.2	13	507	200	782
	福田	34.6	13	310	209	755
	御前崎	30.3	13	109	278	997
駿河湾	吉田	72.5	13	364	199	1,004
	静岡	19.1	13	247	77	1,502
R4年4月計	316.2	78	1,669	190	892	
R3年4月計	1,700.5	102	2,284	745	480	
R2年4月計	404.7	65	1,412	287	607	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年:過去5か年(平成29～令和3年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では952.6トン(前年同月比3.0倍、平年同月比1.5倍)、小川港では269.7トン(前年同月比1.7倍、平年同月比1.2倍)、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港のいずれも水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは87.8トン、カタクチイワシは8.2トンであった。

*平年:過去5か年(平成29～令和3年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

4月4日	～	4月6日	地先定線観測調査	(3日間)
4月11日	～	4月11日	カイトネット習熟航海	(1日間)
4月12日	～	4月13日	さば類標識放流調査	(2日間)
4月19日	～	4月20日	さば類標識放流調査	(2日間)
4月25日	～	4月25日	計量魚探校正	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

